

「安全人間工学」を支える 非接触モニタリングシステム

災害時などに、瓦礫に埋もれている被害者の発見等とその有効性を証明したマイクロ波レーダー探査システムは、レスキュー部門だけでなく、安全・医療など幅広い分野での応用が期待されています。

例えば自動車のシートや車内の任意の部分に測定装置を取り付けることで、被験者の体に特別な装置を付けなくても運転中の心拍数、脈拍などからストレスの状況を検出し、交通事故の遠因になるストレスの状況をドライバーに伝えることが実証されています。さらにサーモグラフィや赤外線センサーなどと組み合わせることで、病院や入国審査での体温や呼吸の異常などを非接触で短時間に判別し、健康な人まで長蛇の列を作ることとはなくなり、インフルエンザなどの伝染病などの検査が必要な人だけを高い確立でピックアップできます。また、ベッドや室内に取り付けられればビデオなどのプライバシーが著しく侵害される装置にかわって、高齢者の体調をモニタリングすることも可能になります。

人の安全とマイクロ波レーダー技術。一見すると関連性は少ないように思えますが、被験者にストレスが少ない非接触モニタリングシステムは、その応用次第でもっと安全で、安心できる社会の実現に貢献する、「人に優しい計測システム」を実現することができます。

今回の先端技術セミナーでは、センシング技術の医療・健康・安全などへの新たな応用とその方向性について、首都大学東京の松井岳巳教授よりご講演いただきます。

日時：平成 21 年 12 月 8 日（火）午後 4 時～6 時

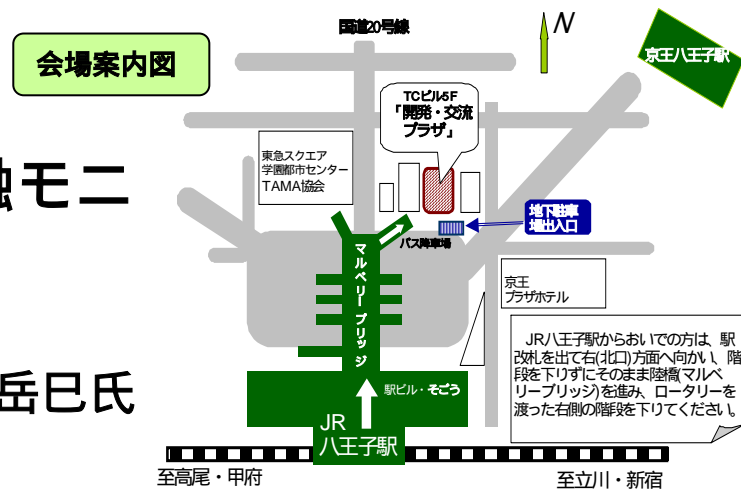
場所：八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」

基調講演

「安全人間工学を支える非接触モニタリングシステム」

首都大学東京システムデザイン学部

教授 松井岳巳氏



主催：八王子市 後援：社団法人 首都圏産業活性化協会 / サイバーシルクロード八王子
参加費無料 定員 40 名 講演会終了後、午後 7 時 30 分頃まで交流会を予定、参加費 1,000 円

参加申込先

八王子先端技術センター「開発・交流プラザ」まで ・fax・メールでご連絡ください。

/FAX 042-648-3276 e-mail u6895cu429x@asahi-net.or.jp

社名 _____ 交流会参加 する しない
参加者氏名 _____ 役職 _____

e-mail _____

参加会社・組織の名簿を配布しますが記載への同意を する しない

申込に際し記載していただきましたその他のデータは八王子市が主催、後援するセミナー等の周知以外には使用しません。